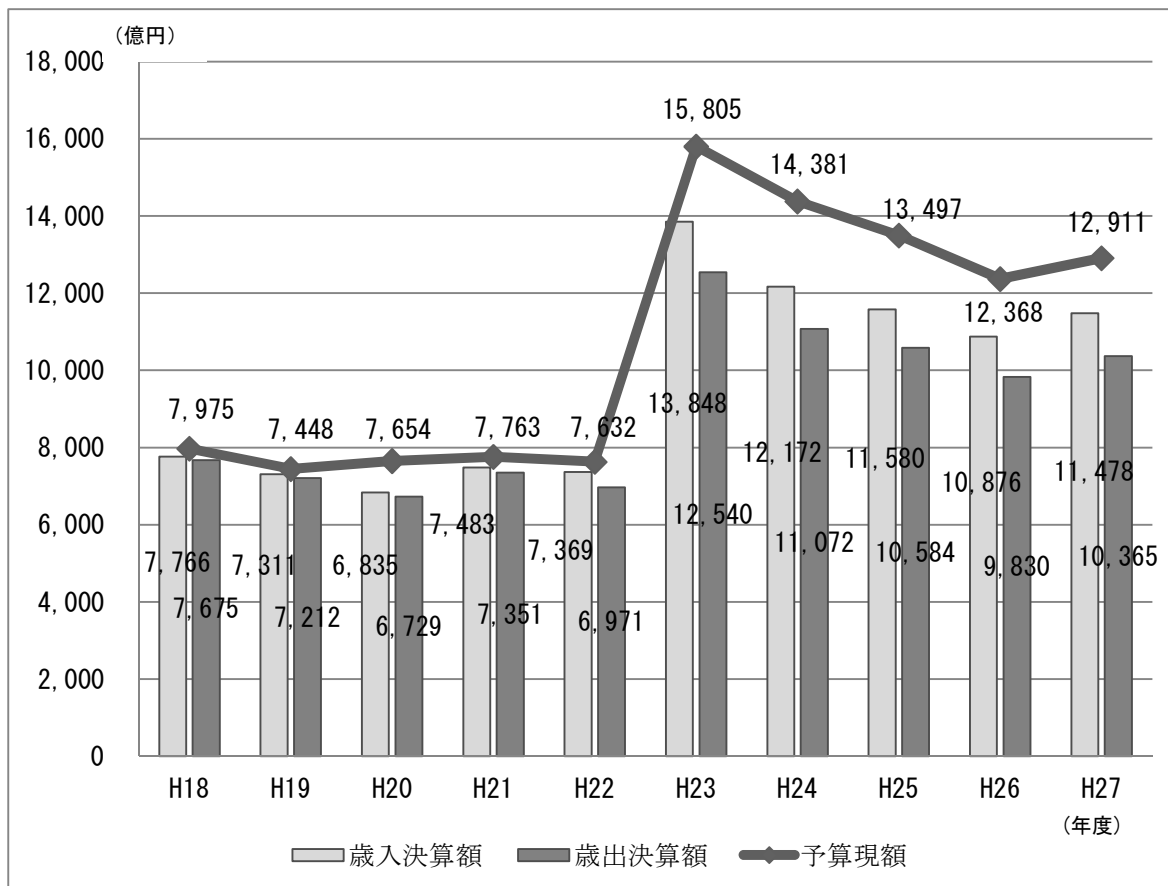


平成 27 年度一般会計歳入歳出決算の概況

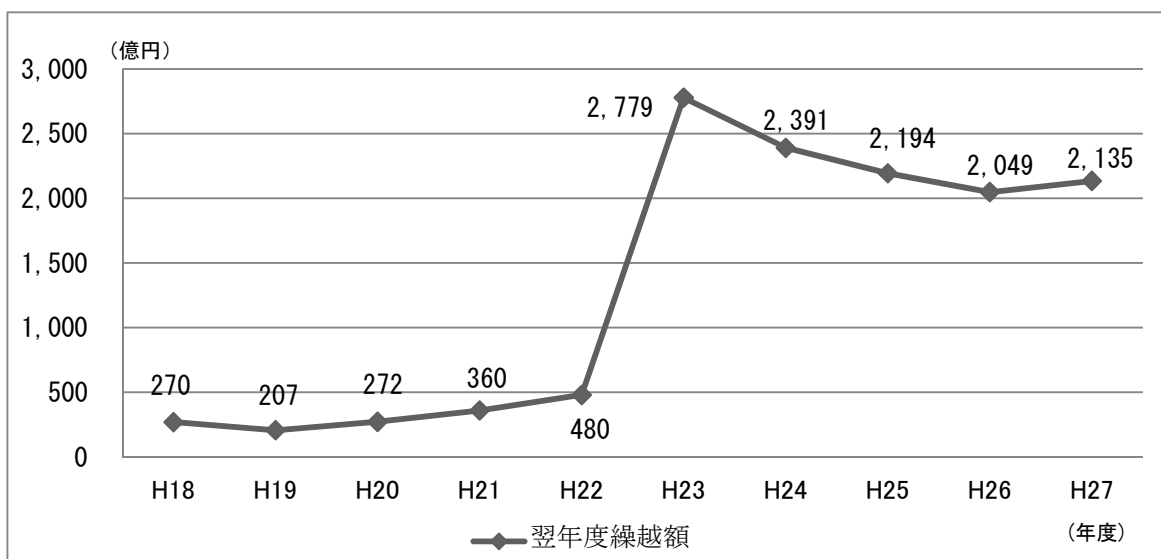
1 予算現額及び歳入・歳出決算額の推移

平成 27 年度の歳入・歳出決算額は復興道路や災害公営住宅の整備等復旧復興事業費が増加したことなどから前年度を上回った。



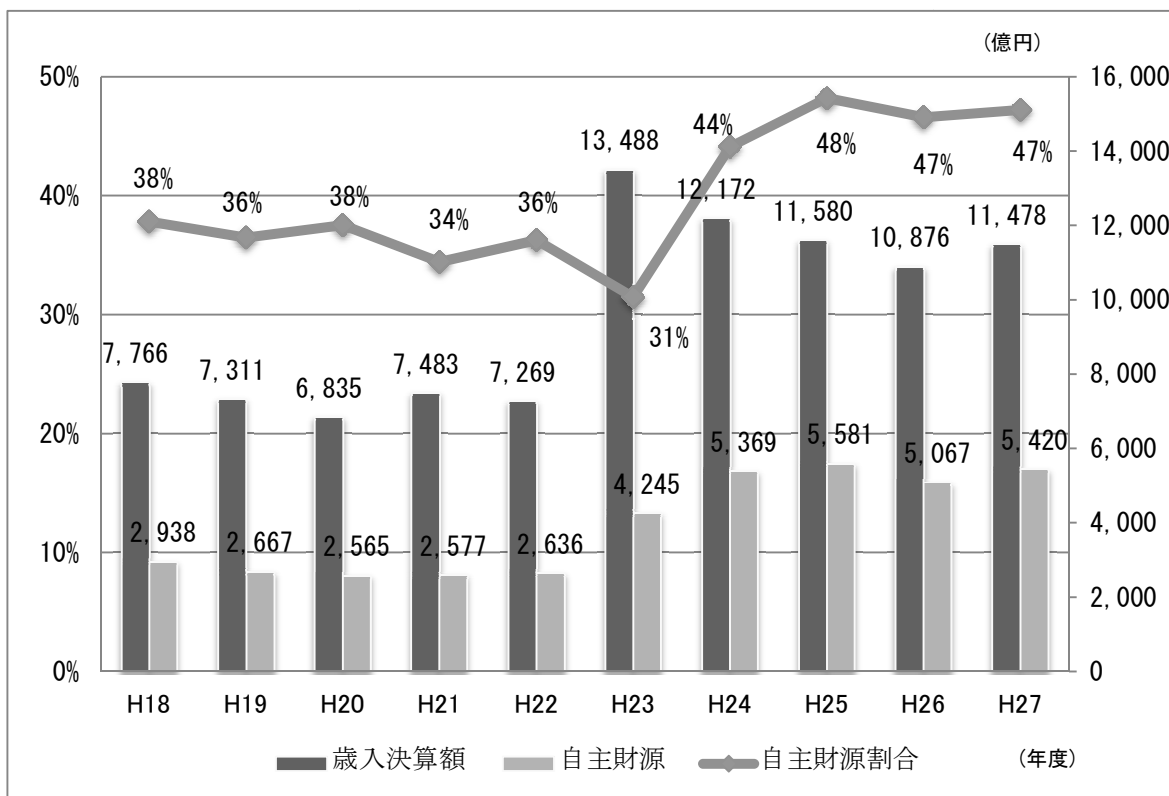
2 翌年度繰越額の推移

計画調整に不測の日数を要したことなどから、翌年度繰越額は平成 23 年度から 5 年連続で 2 千億円台となった。



3 自主財源割合の推移

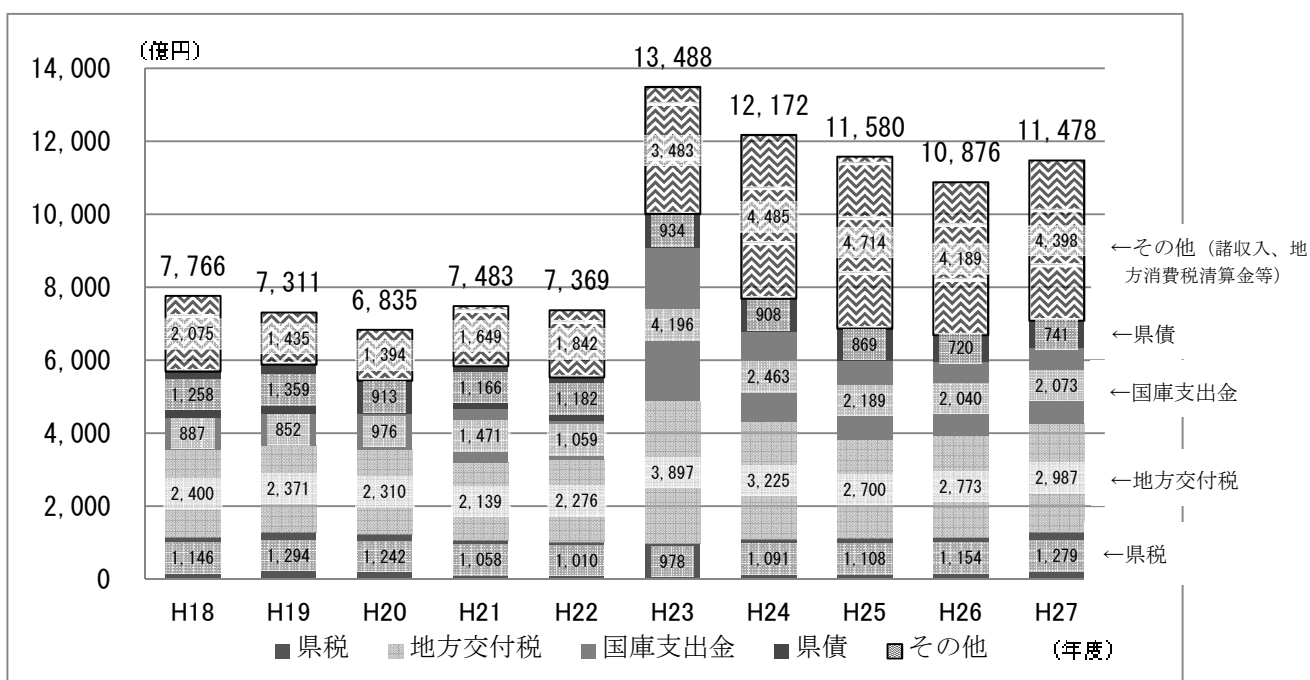
税率改正による地方消費税清算金の増や企業収益の改善等を背景にした県税収入の増により、自主財源は4年連続で40%台となっている。



※自主財源：県税、地方消費税清算金、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入

4 歳入決算の状況

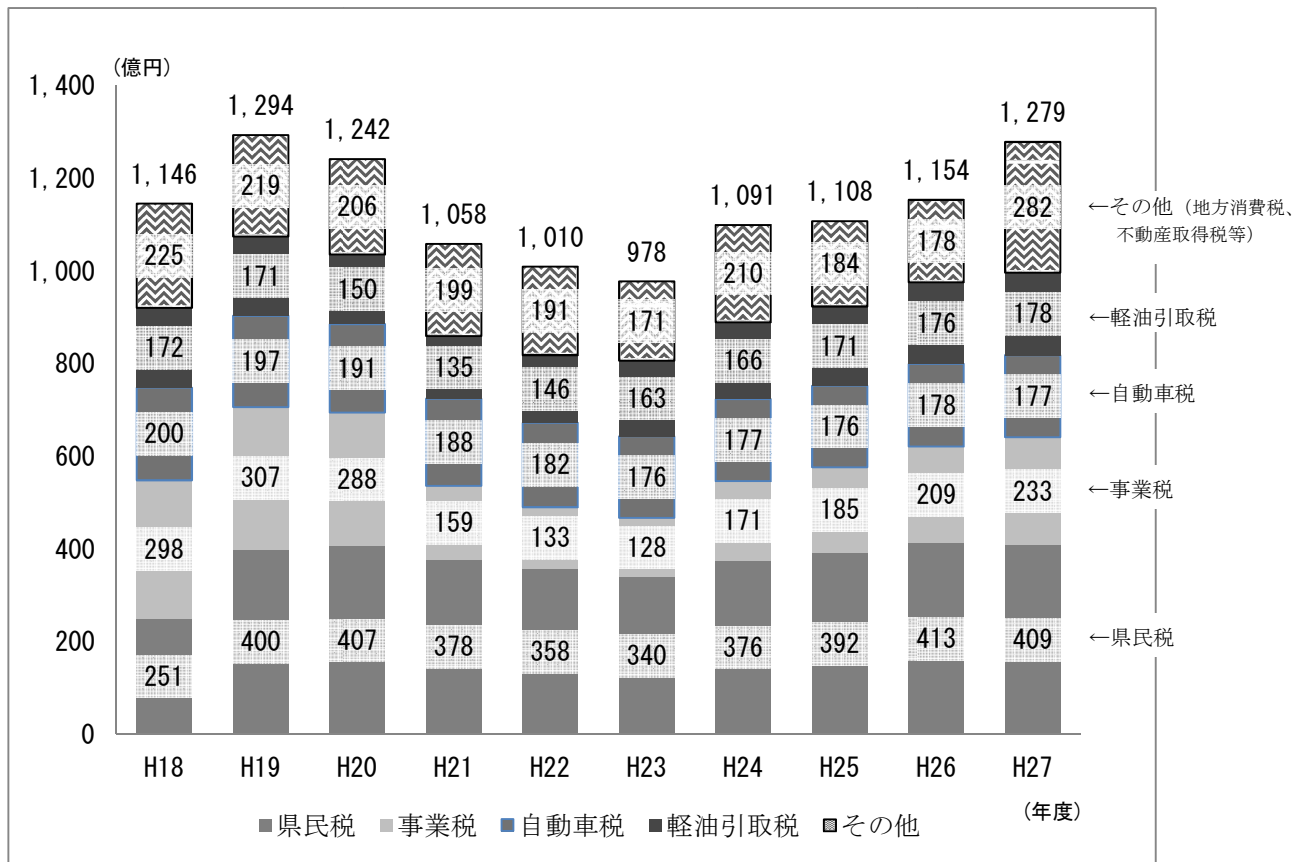
東日本大震災からの復旧・復興のための震災復興特別交付税、税率改正による地方消費税清算金や県税の増により歳入決算額は増加した。



【歳入のうち県税と県債の状況】

(1) 県税

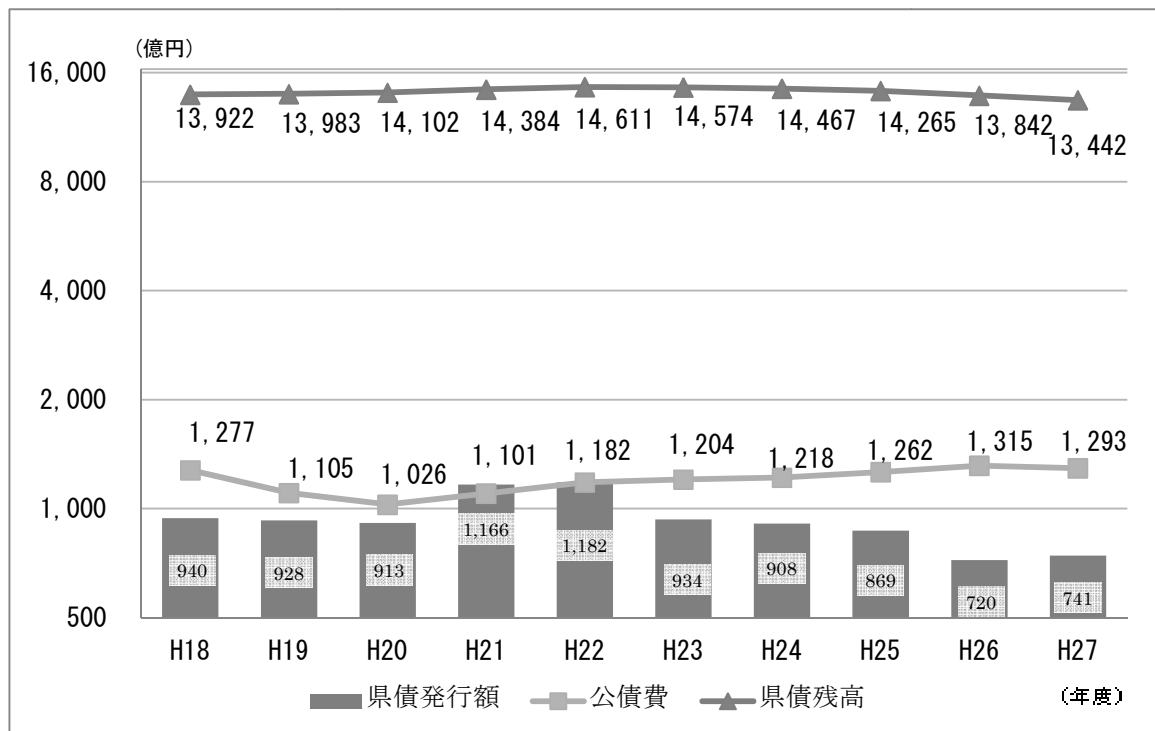
地方消費税、事業税などの増により、県税収入は4年連続で増加した。



※事業税：法人事業税、個人事業税

(2) 県債

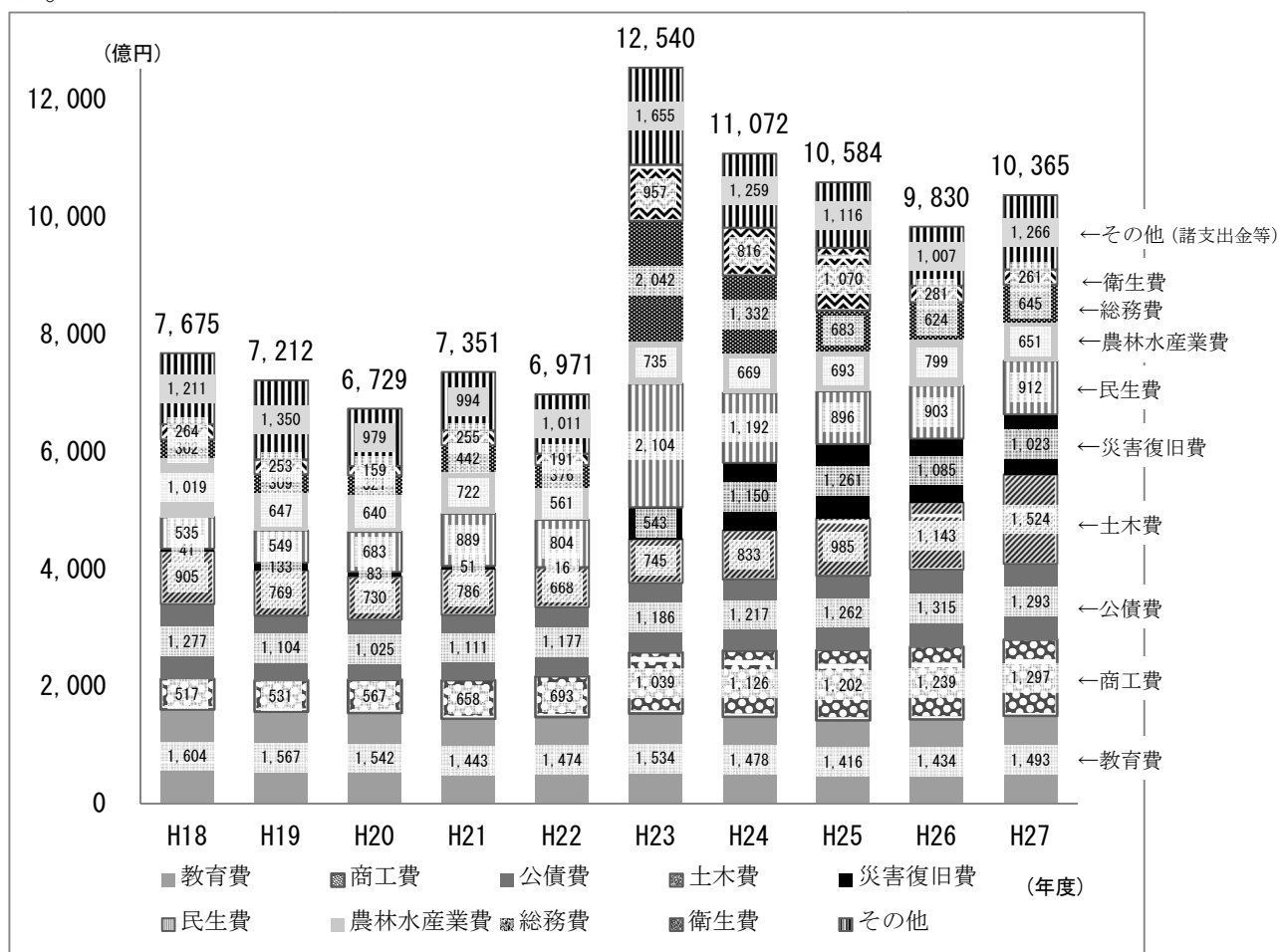
平成22年度をピークに県債残高は減少している。



5 歳出決算の状況

(1) 目的別

災害公営住宅整備事業や地域連携道路整備事業に伴う**土木費の増**、地方消費税清算金や地方消費税交付金を含む**諸支出金の増**などにより**歳出決算額は増加**した。



(2) 性質別

諸支出金の増により**その他の経費**が、災害公営住宅や地域連携道路などの復旧復興事業の増により**投資的経費**がそれぞれ増加した。

